

令和5年度第1回宗像市男女共同参画推進懇話会 議事録

日時：令和5年7月31日（月）13時30分～

場所：宗像市役所 北館2階 204会議室

出席者（敬称略）

委員	出欠	委員	出欠	委員	出欠
石山 さゆり	○	小森 雅子	○	山田 雄三	○
久保 春奈	○	入江 有希子	欠	石橋 文恵	○
北原 一臣	○	戸畑 典子	○	小野 稔	○
永嶋 久子	○				

事務局出席者：城戸、吉武、加藤

1 はじめのあいさつ

宗像市男女共同参画推進懇話会 会長 石山さゆり

2 議事録署名人選出

議事録署名人：北原 一臣

○委員

●事務局

3 報告

- 令和4年度の仕事と育児介護市民ニーズ調査を行った。報告書を配布している。これを受け、来年度以降の事業を検討予定としている。今回は参考までに配布。
- 男女共同参画推進社会に関する市民意識調査を今年度実施予定。5年に1度行っている調査である。毎回経過を見ていくものにはなるので、設問内容等は大幅には変更しない。今回参考に平成30年度に行った調査票を配布。

4 議事

(1) 令和5年度男女共同参画推進懇話会スケジュールについて（資料1）

- （スケジュールを説明）今年度懇話会は3回実施予定。
- 2回目以降に委員評価をまとめて提示させていただき話を進めていきたい
- 市民意識調査について
- 懇話会では、例年前年度の事業に関して評価をしているが、令和3年度の事業の評価の意見を反映させながら5年度事業を実施していると思ってよいのか。
- 昨年度頂戴した意見において、今年度4月に各課に令和4年度事業のヒアリングをした際に、令和3年度事業の評価を伝えた。また機会があれば、随時各課に伝えている。頂いた意見全て反映しているかと言われれば厳しいところはあると思われるが、少しずつ反映できるように取り組んでいる状況である。
意見書を完成させた時点で5年度事業の予算も確定している状況であったため、6年度以降に少しずつ反映させていけるように男女課としては働きかけをしていく
- 流れとしてはそうだと思うが、法律等も変わることから懇話会から出た意見を早く反映させていく努力が必要なのではないか。
- 昨年度は、意見書の様式を変えたこともあり、事務局としても意見書完成まで時間がかかってしまったが、今年度においては、昨年度よりも早く意見書を完成させ、各課に働きかけを行っていききたい。ただ、今年度もスケジュール的には12月完成予定のため、来年度に大幅に反映は厳しい状況である。

各課と関係を密にしていきたい。

○予算案は宗像市はいつ作成するのか。

●8月に事業計画を立て、経営企画課に提出をする。予算の話になると10月11月になる。市長から次年度の方針等がでてくるのは8月頃となる。そのためその時期には事業を組み、見積り等をとる状況である。

○逆算していくといつまでにこの評価をまとめたら次年度に反映されるのか。

●事業報告ができるのがどうしても年度変わりにしかできないため、意見書をまとめて次年度に反映というのはどうしても厳しい。そのため各課とヒアリングや協議の場を設けて懇話会の意見をお伝えしていく。

○せっかくこの懇話会の場があるので、懇話会から出た意見で「これは！」というものにおいてはいち早く各課に伝えて取り組んでほしい。

○意見書にまとめていなくても、意見を各課に伝えて次年度に取り組んでもらうことは可能か。

●今回お配りしている市民ニーズ調査も来年度事業に反映してもらうため、各課と話していく予定なので、各課の事業に男女の視点を盛り込んでいってもらえるように今後も協議していく。

(2) 令和4年度事業実施状況の報告について（資料2～4）

●第3次宗像市男女共同参画プランの概要について説明。

●資料2について、各課に目標、実績報告、評価を入力してもらっている。

●資料3は、資料2をもとに作成。資料3を使って評価をする際は、詳しく知りたい場合や割愛されている事業について知りたい時は、資料2に戻って同じ番号の事業を参照いただきたい。

●資料4は、目標値と実績値の推移である。

○資料3のP.4の9女性の職域拡大の推進のところの女性活躍推進講演会の参加人数が、238人記載してあるが、資料2に記載してある会場とオンラインの参加人数を合計すると275人になるがどちらが正しいのか。

●資料2に記載してある人数が、参加者数ではなく、申込者数を記載してしまっていた。実際の参加者数は238人である。

○資料2の事業番号28、29の福祉課の分について、今後の方向性がAとなっている理由を知りたい。また、事業番号16が印刷されていると全文表示されていない。

○資料3のP.2の地域リーダー養成につながる研修の対象者、人数、内容を知りたい。また、健康づくりリーダー養成講座は連続講座か？延べ人数か知りたい。

○資料2の事業番号4危機管理課の実施状況報告がわかりにくい。わかりやすく書いてほしい。

●後で説明予定であるが、今回評価するにあたり質問があれば、メールまたは文書にて受付をする予定である。今聞いたことについては、その際にまとめて回答させていただく。

(3) 令和4年度事業実施状況にかかる評価について（資料5、【様式】）

●今年度は質問と評価を分けて受け付けたいと考えている。その後事務局で意見をまとめて委員にお見せしたいと考えているがどうか。

○評価とコメントが毎年反映されていないように感じる。評価をして「できる・でき

ない」などの各課の声を聞くことができないので、懇話会での評価やコメントを各課にどう伝えて反映していくか等どういう仕組みになっているのかを聞きたい。

●今時点では、意見書を頂戴した時点で庁内に周知している。事業報告を受けてヒアリングをする際に各課に意見を伝えている。今後事業に反映させていっていただけないですかという話だけで終わっている。それがどういう具体的なかたちになって事業として成り立っていくかまでは追えていない状態である。男女課の事業としては、いただいた意見を反映させ、今年度も事業をしているところである。また、他課については、男女課と一緒に事業をやるなど今後声かけていきたいと考えている。また、他課にうまく伝えていけない部分についても反省をしている。

○改善に活かす仕組みづくりをつくるべき。懇話会としてどう改善していくのか、またその改善すべきことがどこまで進んでいるのかを点検できるように見える化した方がいいのでは。

○男女共同参画推進本部の力を借りて各課に働きかけていってはどうか。

●現状としては必要に応じて意見をいただくようになっており、会議等が開催されるわけではない。

○報告はされているのか？

●意見書を受けて全職員が見ることのできる掲示板に掲載している。

○懇話会としても優先順位をつけてみてはどうだろうか

○実績報告の実施状況報告の書き方についてはすぐに取り組めるので、話をしてはどうか。ちょっと集まって話をするのはどうか。

○改善できなくてもいいが改善できない場合はリアクションがあれば、できないことに対して何度も話し合わなくて済み、焦点がしぼられてくるので、いいのではないか。

○この懇話会の意見を誰に向けて述べているのかわかりにくい。リアクションがなければ届いたのかどうかもわからない。例えば毎回各課の職員がきて、懇話会で現場の声が聴ける場などあってもいいのかなと思う。

●いただいた意見をもとに全庁的にどうしていくか検討していく。

5 事務連絡

- ・第2回日程調整についてメールをするので協力願う
- ・質問については、8月21日までにメールまたは文書にて提出を

次回 令和5年度第2回宗像市男女共同参画推進懇話会（令和5年10月予定）

議事録署名人 宗像市男女共同参画推進懇話会 委員

北原一臣



